



2015 明治安田生命 J2 リーグ
第 1 2 節

vs. 京都サンガ

5/6 (水・祝) 13:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

2015J2

■順位表■第 1 1 節
勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	金沢	25p	+12	18	6	H●
2	千葉	23p	+12	20	8	
3	磐田	22p	+8	18	10	
4	大宮	21p	+5	13	8	
5	福岡	20p	+2	14	12	A△
6	札幌	19p	+5	13	8	
7	C大阪	18p	+7	20	13	H●
8	長崎	18p	+5	14	9	HO
9	岡山	16p	+5	13	8	A●
10	愛媛	16p	-1	11	12	
11	横浜FC	16p	-2	13	15	
12	東京V	15p	0	13	13	A●
13	北九州	15p	-2	14	16	A●
14	群馬	14p	-2	9	11	
15	讃岐	12p	-3	6	9	HO
16	栃木	12p	-4	11	15	H●
17	水戸	11p	-2	8	10	
18	徳島	11p	-5	8	13	A●
19	京都	10p	-8	10	18	
20	大分	8p	-6	11	17	A●
21	熊本	7p	-12	7	19	
22	岐阜	7p	-13	10	23	---

次回HomeGame

第13節 vs.愛媛FC
5/10(日) 19:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

Living in Woods
本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心 癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町 3 丁目(木ノ本公園東)

today's guest : 京都サンガ
2014 J2 14勝18分10敗 勝ち点60:第9位

直近の対決と結果

2014/11/23 J2-42節@西京極
京都 0-0 岐阜

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	京都サンガ
2015/05/03 J2-11節@本城北九州 2-1 岐阜	2015/05/03 J2-11節@西京極 京都 0-1 群馬
2015/04/29 J2-10節@長良川 岐阜 1-0 長崎	2015/04/29 J2-10節@金鳥スタ C大阪 3-0 京都
2015/04/26 J2-09節@レベスタ 福岡 2-2 岐阜	2015/04/26 J2-09節@西京極 京都 2-0 北九州

●4/29(水)に3位の長崎をホームに迎えた一戦で、念願の今季2勝目を挙げたFC岐阜。激しくタフな試合だったが#33レオミネイロの得点を守って1-0でしっかりと勝ちきり、勝利を待ち望んでいたサポーターと喜びを分かち合った。しかし、(残念ながら)この勝利の代償は大きかった。スタメン3人が負傷、うち#18富士祐樹と#27苅部隆太郎は長期離脱が確定となってしまった。5/3(日)アウェイ北九州戦では、エース#24難波宏明を欠く中でも善戦したが、守備のミスもあって2失点。#15ヘニキのスーパーゴールで1点差にしたものの、1-2での敗戦となってしまった。これでシーズンの4分の1となる11試合を消化したが、FC岐阜は(いったんは21位に上昇したものの)最下位の22位だ。しかし、勝ち点3差に19位(京都)が、6差に15位(讃岐)がいる状況であり、ここからの巻き返しは充分に可能だ。今節はチームが立て直して勝利を納めてくれることを期待したい。さて、本日の対戦相手は京都サンガF.C.。今年は和田昌裕監督の下で巻き返しを図ろうとするものの、チームは混迷して現在19位と苦しんでいる。ここはしっかりと勝っておきたいが、京都も連敗を脱するために死にものぐるいで向かってくるだろう。昨年のJ2得点王である#30大黒将志は健在だし、ベテランの#14山瀬功治など、実力のある選手が揃っている。また京都のGK#33山田元気は中津川市出身で、第8節のJ2デビュー以来4試合連続して出場しており、故郷での対戦に燃えているだろう。岐阜としては若いGKの経験不足を上手く利用してゴールを奪いたいところだ。対戦成績では岐阜の2勝1分5敗7得点15失点と負け越しているが、ホームでは2勝2敗。昨年は1勝1分と勝ち越した。この勢いを今年も継続したい。しかし最大の問題は、チーム内の負傷者の多さだ。チーム登録(特別指定選手2名を除く)27人中なんと10人が負傷中(うち3名は長期離脱と公表)という噂もあり、ベンチメンバーすらまともに選べない“野戦病院”と化している。しかもGW5連戦の4試合目では、その他の選手も激しく疲労しているだろう。フレッシュな選手を投入するのか、それとも従来のメンバーに任せるのか。ラモス監督の采配そして出場する選手たちの奮起に大いに期待したい。本当に苦しく厳しいチーム事情だが、だからこそホームスタジアムのアドバンテージを活かす機会だ。岐阜は(今節を含む)GW5連戦の最後の2戦をホームで迎えられる。どのチームも連戦の疲れで苦しむ中、ここで連勝できれば順位も大きく上がるしチームにも勢いが出てくる。まさに、チームとサポーターが一丸となって戦う“総力戦”だ。最後まで勝利を諦めず、拍手と声援を選手たちに送り、重い身体を後押しして、スタジアムを盛り上げよう。そして最後は今節も、選手と勝利の喜びを分かち合おう。(ささたく)

編集人から一言:
8年前(2007年)の初夏のことです。当時、JFLに所属の「FC岐阜」というクラブは体力も弱く、クラブ自身でマッチデー・プログラムを出していませんでした。名古屋で働く岐阜サポ有志で金山の焼鳥屋に集まり「サポとして何か出来ないだろうか」とか言いながらビール・ジョッキを片手に話し合っ『岐大通』のプランは生まれました。以後、ホーム全試合発行とまではいきませんでした(ここ何年かは全試合発行を行っています)が、今号で150号到達となりました。皆様のご支援、ご愛読の賜物と感謝しております。今後もよろしく願いいたします。なお、バックナンバーはすべて『铸造総研』
<http://www.cycic.co.uk/fcgifu/gidaidohri.html> で閲覧可能です。(編集人:吉田铸造)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
gidaidohri@hotmail.co.jp

【第10節】岐阜 1-0 長崎

●今シーズン初めて、快晴でのホーム戦。っていうか急に初夏の天候になってホント暑い…これで選手は（アウェイ福岡も快晴のデイゲームだった）中3日での連戦なんだから、これはタフな試合になる…と試合前から覚悟はしてたんだけど、ちょっと違う意味でタフな試合になってしまった（溜息）。前半で#18富士、#27苅部が負傷交替。両チームで4枚の警告。小競り合いが数回。うわー、これは荒れる試合に…と思ったけど、それは選手たちもハーフタイムに上手いこと頭を冷やしてくれた（あるいは順応した）みたいで本当に良かった。あとは交替で投入された選手が上手く機能してくれた。特にJ初出場の#23小野悠斗が効いていた。その小野からのスループアスに、抜け出した#33レオミネイロの2試合連続ゴール！前節・福岡戦でのゴールといい、レオは裏に抜け出すプレーが得意なのかもしれない。直後の惜しいミドルもあったし、今後も（難波と共に）ゴールを量産して欲しいね！そしてそんな彼の特性を見てなのか、あるいは勝利のためラモス監督、理想を捨ててなりふり構わない戦術に変えたのか、今節のFC岐阜は（前節もそんな気はしてたんだけど）古き良き伝統ある戦術、いわゆる“縦ポン”…（苦笑）。いやいや、僕は（ゴールを奪う手段ではなくて目的化した）中途半端なポゼッションサッカーよりは、シンプルに前に前にとボールを運んで走って追いかけて、こぼれたボールを奪って勝負するサッカーの方が大好きです（キリッ）。それで3位の長崎を相手に渡り合えるのなら、そっちの方がチームに合ってるに決まっています。強豪チームならいざ知らず、J2下位のチームは「ハイプレスからのショートカウンター&セットプレー」を磨き上げた方が強いことが多いです。現在快進撃中の金沢もそういう戦術じゃないかな？

閑話休題。そういう“泥くさい”サッカーには、選手がひたむきに走る姿や勝ちたい気持ちが不可欠で、だから自ずと、（特に勝利に飢えている）サポーター・スタジアムは（良い意味で）ヒートアップしていく訳で。試合終了の笛が鳴った時、（僕はよく緊張から解放されると花粉症が急に発症することがあるので）花粉症だと思わんですけど、なんか鼻がグズグズいってたことを恥ずかしながら告白します（苦笑）。何度も惜しい追加点になりそうだったシーンがあって頭を抱えつつ（そうそう、#6高地系治の連続CKやFKも迫力ありました）、また危ないシーンで肝を冷やしつつ（そうそう、初勝利おめでとうGK#21太田岳志！）、一説には“最も美しい勝利”と称される1-0（ウノゼロ）。

いやあ、勝利って本当に良いなあ…そう思ったサポーターが多かったのでしょうか、17時前には岐阜駅周辺の某居酒屋に30名近くのサポーターが（文字通り）三々五々に集っていたことも（恥ずかしながら）告白しなくてはなりません（苦笑&他の店にも大勢いたようです）。

日焼けして顔はヒリヒリ、声は嘎れてガラガラ、身体はガタガタ。それでもみんな笑ってる、そんな光景は何度でも見たいし、そんな思いをさせてくれるサッカーって素晴らしい。まあ毎回勝つのは無理だと判ってるから（苦笑）、1回でも多く、特にホーム長良川で勝利を味あわせて欲しい。そのためにも今日も最後まで応援しますよ！（ささたく）

●いや〜、ようやく2勝目です。どこの昇格クラブは5連勝だってのに。連勝ってウマいんですかソウデスカ、の境地デス。うちもいつかは味わいたいもんですね（笑）。それにしても、うちの選手はGKに当てるのが上手。ピンポイント。まさに。枠内に入れるのはアレなのに、どうして枠内に打つ時は相手に当たるように打つんでしょうか？それでも、気持ちのこもった試合でした。統一された意識、戦術の下で戦い抜いた試合。そして、それとは裏腹の、鮮やかなスループアスにオシャレな右足アウトでの流し込み。いや〜、本当に

ゴールの瞬間って震えますね。勝利が確定した瞬間って喜びが爆発しますね。

とはいえ、前半は長崎のペースでした。危ない場面もたくさんありました。あの一対一を止められたのは岳志のチャレンジもあったんですが、和道の冷静な判断のおかげでした。さすがのプレーでした。逆に、こちら側はシュートって一本も撃ってないんじゃない？とってしまうような展開。実際は、途中交代した悠斗のFKがあったんですが、流れの中からは打てなかった。そのうえ、後半開始直後の展開は怖かった。何だったんでしょうね？アレは。ヒヤヒヤしてたんですけどね。アソコまでで失点しなかったのが勝因でしょうね。

それにしても、富士と苅部のケガが心配です。試合に影響しそうで怖かったのですが、逆にいい意味で影響してくれましたね。もちろん、結果を出してくれた悠斗と野垣内には最敬礼です。とにかく、こういう気持ちのこもった試合をこれからも期待しています。

ただ、この試合。いろいろ荒れ気味な内容でした。イエロー（警告）が6枚ですか。今季もファウルが多いのがウチの特徴（それではいけないんですけどね）ですが、流れの中のアレコレは仕方ない部分もあると思います。ラフか、ハードか。主審も瞬間的に判断しなければならないので大変です。けど、アディショナルタイムの系治へのイエロー。アレはないと思います。CKを蹴ろうと、フラッグに向かってる選手の前を通り抜けたボールを受け取らなかつたら遅延行為ですか？しかも、それは、負けてる側のGKが、オーバースローで、やや乱暴に投げたボールのように見えました。アレを取るためには、走っていかなきゃならないと思うんですけどね。ふつうなら、負けてる側は「早くやってください」と、コーナーポストにボールを置いてもおかしくない場面。少なくとも、キッカーが取りやすいボールを渡すのが妥当。遅延行為でカードを出すなら長崎のGKに、ぐらいいと思います。まあ、ネタになる程度ですんでますからね（苦笑）。

もしかしたら、系治もある程度覚悟していたようにも見えましたし、本人も「イエローもらっても仕方ない」くらいに思ってたかもしれません。いずれにせよ、余計な警告は避けるべきです。たださえ、ケガ人が増えているウチに取っては致命傷になります。ましてや、リーグ終盤戦に複数試合の停止になったら…。いろんな場面でアツくなることもあると思いますが、それはプレーで発散してください。お願いしますね。（ぐん、）

●負傷交代した富士と苅部は長期離脱となって激しく苦しい選手事情となってしまったが、この試合に関して『だけ』言う、交代で入った野垣内と小野の両選手が攻守に大活躍。文字通り「ケガの功名」。高地をボランチに下げてトップ下に入った小野からの優し〜いスループアスをブラジル人らしい技術で流し込んだレオミネイロ。彼は（得意なポジションではないかもしれないけど）最前線にいた方がチームとしては『活きる』。昨年のナザリトには及ばないけど、どこからでも「とりあえずぶっつけて」が出来るから。おかげで、「すべてのボールは高地から」という金沢戦惨敗の状況ではなくなった。あと、前号の『岐大通』で書いた「スタメン」「サブ」「サブにも入れない」の階層を打開してくれた小野の活躍、そして太田圭輔の復帰も大きい。高木監督の（ウチから視たら）采配のミス？（サポ目線だと、梶川は残された方がイヤだった）もあって、後半は結構安心して観ることが出来た。バックスタンドのサポは『アイーダ』歌ってもよかったんじゃない？とすら思った。でも、主審にナーバスになっててそれどころじゃなかったかな。最後の高地への警告はいまでもまったく納得できない。まあ、審判アセッサーの方も納得していらっしやらないと思う（あくまで予想）ので、なんらかの指導鞭撻があったことでしょう（苦笑）。（吉田 Casting）

【第11節】北九州2-1 岐阜

●GW5連戦に九州アウェイが2試合。しかもアウェイ福岡→中2日でホーム長崎→中3日でアウェイ北九州ってさ、どんな罰ゲーム的な強行日程…(苦笑)。J2全22チーム中5チームが九州だから仕方ないんだけどさ、これなら(遠征するサポーターは更に厳しくなるけど)福岡・長崎・北九州アウェイ3連戦の方がマシなんじゃないの?って思ったり(苦笑)。しかも、長崎戦で負傷退場した#18 富士祐樹、#27 荻部隆太郎は膝の靭帯損傷で長期離脱。(ところで、靭帯損傷で選手が毎年何人も離脱してるのはウチだけ?僕の気のせい?)#24 難波宏明も負傷(腰を痛めたような…?)でベンチにもいない…おいおい中継で「岐阜の負傷者は10人」って言ったぞ?じゃあ今いるメンバー以外はほぼ全員怪我してるってことじゃん、これ以上の負傷者は出さないでくれよ今日は無事に帰ることを考えて…って思ってたのに、おいおい#3 CB高木和道まで負傷交替だとおおお!?マジカー!!(悲痛な叫び)。

まさに“野戦病院”。でも選手たちは(少なくとも前半は)しっかり戦ってくれたと思う。シュート数で言えば北九州の倍を撃ちながらの敗戦。CKも7本と圧倒していた。ただ、少しの工夫と運がなかった…特に#15ヘニキに。勝負に「たられば」は禁物ですが、ヘキニがあと2ゴール決めてたら勝ってたのになあ…とはいえ、決めたシュートは本当に素晴らしかった。スカパー!月間ベストゴールにノミネートも納得の弾丸ミドルです。本当に失点時のミスがもったいなかった。申し訳ないけど#2 阿部ちゃんは猛反省してほしい。#25 小松壘が一枚上手だったなんて思いたくないし、思って欲しくない。少し気になるのは、今年のチームは失点すると急にプレーに勢いが無くなるというか、臆病になって後ろでボールを回してしまったり、思い切ったシュートを撃たなくなるように感じる。まあ今季はこれまで1試合当たり得点が1点未満だから当然なのかもしれないけど、でもだからこそ逆に「逆転してやる!」って気概が欲しい。今は悪循環に陥ってるような気がする。そういえば、勝ったのは2試合とも先制しての1-0なんだっけ…ヘキニのゴールで1点差に迫って相手は動揺してるハズなんだから、もっと前にボールを運べばいいのに…(溜息)。

中2日での今節はどうするんだろう?個人的には、もう思い切ってガッチリ守りを固めて#15ヘニキ#33レオの2トップにして“行ってこい”で良いんじゃないかと(苦笑)。ともあれ、ホーム戦で前を向かないプレーは見たくない。そのために今日も最後までがんばって選手の後押しをします!(ささたく)

●う〜ん、なんと言えればいいのか……。もったいない?前半はよかった?それとも、決定機を確実にモノにしないとうなる?黄金週間の真っ只中。けれど、あにくのお天気。しかも、海沿いにある本城陸上競技場は風も強い。ポンチョが必須な天候の中でも、多くの岐阜サポが来場。ざっと見て50人以上はいた模様。そして、前々節の福岡戦同様、選手入場時にサポが肩を組み「誇り胸に」を高らかに歌う。入りの雰囲気は最高だった。レオはここ数戦の好調さを維持していたし、これなら、ナンちゃんがいなくても……。そう思わせる内容だった。岐阜サポの応援も入りののままのテンションが続いていた。だからこそ、岐阜サポ入退場口を挟んだバクスタ側で観戦していた男子中学生と思しき数人が、こちらのチャントやコールに合わせて一緒に応援してくれた(と、思っておく)。それなのに……。

やっぱり、前半のゴール前混戦のチャンスに押し込めなかったのがよくなかったのかな?北九州側のゴール前だったんで、状況がはっきりとはつかめなかった。録画もダイジェストも観ていないので、いまだによくわかっていない。ただ、「惜し

いっ!」とは思ったけれど、「もったいない」とは思わなかった。「それでイイ!」「ドンドン行け!」という気持ちが溢れていたのだ。その時には、和道の交替だけは不可解だったが、優勢のまま(感想を書いている現時点でも、そう信じているワケですが)前半を終えることができた。

ところが、だ。ホントに何でも無いような流れでの失点。本当に向こうのゴールは見づらくて、何がどうしてあんなったのか。いまだによくわかっていないのだが、何かミスでもあったんだろうか?なんというか、実にあつけなく失点してしまったような気がする。ただ、まだ一点なのだ。前半の調子で行けば十分逆転できる。そう信じて応援していたのだが、再び失点。岳志のニアを抜かれたのだろうか。そこから先は、ボールをキープしても決定機を作れない展開が増え、時折訪れる決定機にも相手DFが身体を投げ出して阻止してしまう。挙句に、終盤は後ろでのパス交換やバックパスに終始してしまったような印象。いや、後ろ手のパス交換やバックパスが悪いとは思っていない。相手のスキを突く、味方のスペースを作る。そういう作用もあることは知っている。だが、意を決して勝負する。縦にボールを入れる動きがなければ、得点はできない。もちろん、ピッチ上の選手はそれを意識していたと思うのだが、スタンドにはそれがなかなか伝わってこなかった。とりあえず、傾斜の少ない見づらいスタンドのせいもある。そういうことにしておこう(苦笑)。

まあ、出てしまった結果はどうしようもない。アウェイに駆けつけたサポには残念だったが、天候のせいで不完全燃焼になってしまったのだろう。その分も含めて、次節のホーム・長良川で爆発してほしいね。相手も同じく結果の出ていない京都。順位も近い相手だけに、勝ち点は落とせない。ピッチもスタンドも全力を尽くして戦おう!

あと、気になるのは和道の具合。まさか、試合前の練習中に故障していたとは思わなかった。「ツイてない」とかだけで済ませていいものではないような気もする。これだけケガ人が出ていても、試合中のものであれば仕方ないと思えるのだが……。ここは早急に改善してほしいのだが。

(ぐん)

【ようこそFC岐阜へ】 特別指定選手2名が加入

●Jリーグ特別指定選手として、中京大学のGK石井綾(いしい・りょう)選手、DF鈴木潤(すずき・じゅん)選手の2名がFC岐阜に加入しました。

石井選手はグランパスの下部組織出身で、#28 水野泰輔選手とは昔からのチームメイト。2011年Jユースカップ選手権でも共に戦い、優勝を手にした仲間です。中京大学では主将を務めており、2013年&2014年の全日本学生選抜にも選ばれています。

一方の鈴木選手も、市立船橋高校時代に第90回高校サッカー選手権で優勝した経験を持つ選手で、2014年の全日本大学学生選抜選手。SBですからシーズン中の出場機会があるかもしれません。

FC岐阜の特別指定選手では、2008年に指定を受けた#17 野垣内俊選手が今も活躍しています。若い両選手の活躍にも期待しましょう!

(ささたく)

【セカンド】社会人県予選優勝

●公式HPにも紹介されていますが、「第51回全国社会人サッカー選手権大会（以下『全社』）岐阜県大会」に参戦しているFC岐阜SECOND（以下『セカンド』）は5/3（日）、決勝戦でFC川崎と対戦し、3-0で勝利を納め、見事優勝しました！2点を挙げた#9藤沢ネットほか、多くの選手が活躍しましたが、個人的には途中出場した#18渡邊一也（FC岐阜U-18出身）に注目。昨年からセカンドに加入していた渡邊選手、昨年は苦しんでいたようでしたが、1年かけてフィジカルを鍛え上げた結果でしょうか、豪快なシュートで試合を決定づける貴重な3点目を挙げてくれました。昨年3名（#11遠藤純輝、#16比嘉諒人、田中智大（鳥取にレンタル中）、今年1名（#30尹昌洙）の“昇格組”を出すことで、より有力な選手がセカンドに集まってきているのかな、と思います。残念ながら昨年は全くタイトルを獲れなかったセカンドですが、今年は最初の大会を制したことで、一昨年と同様の活躍が期待されます。また、この優勝により以下の大会の出場権も得たものと思われま

○「全社東海大会〔於：長良川球技メドウ、7/4（土）&5（日）〕」→勝ち抜けは「全社本大会〔於：岩手県、10/17（土）～21（水）〕」
○「第20回岐阜県サッカー選手権大会（第95回天皇杯全日本サッカー選手権（以下『天皇杯』）岐阜県代表決定戦）〔於：長良川球技メドウ、8/22（土）&23（日）〕」→勝ち抜けは「天皇杯本大会〔8/29（土）～〕」
（※正式情報ではありません。ご注意ください。）

また、5/9（土）から「第50回東海社会人リーグ」が始まります。今年の岐阜県勢はセカンドと長良クラブが1部に、FC川崎が2部に属しており、過去にない充実ぶりです。これも地元「Jクラブがある成果なのかもしれません。さてセカンドは、5/10（日）にChukyo univ.FCと（11:00～中京大学グラウンド）、5/17（日）に藤枝市役所と（13:30～岐阜フットボールセンター）と対戦します。全14節で戦われるリーグ戦、「トップチームのアウェイゲームは遠いので…」と思われる皆さんも、日程が合えば『セカンド』やユースの試合に応援に行ってみては如何でしょうか？（ささたく）

【ユース】この週末は連戦です

●我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は本日G1リーグの第2節長良高校戦の予定となっています。初戦は大垣工業に完封負けを喫しましたが、気持ちを切り替えて戦い、吉報を届けて欲しいです。そして今週末は9日（土）にG1リーグ第3節の郡上高校戦、10日（日）にクラブユース選手権の1次リーグの最終戦である愛知FC戦と言う連戦となっています。特に愛知FC戦は勝つか引き分けるかで最終トーナメントに進出決定、負けるともう1試合の結果待ちとなります。愛知FCは全国大会にも出た事がある侮れない力を持つチームであり、簡単な対戦相手ではありませんが、ここは是非しっかり勝ちきって、自力での1次リーグ突破を決めて欲しいです。行くぞ～！全国！！頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜！！（シュナ）

『岐大通』150号です。 ご愛読ありがとうございます

●おかげさまで、この5/6（水）京都戦号で『岐大通』は通算150号（&もうすぐ8周年）を迎えました。これも毎試合、『岐大通』を受け取って読んでくれる（アウェイサポの方々も含めて）サポの皆さん、そして許可してくれているクラブ関係者の皆さんのおかげです。本当に本当にありがとうございます。

さて、『岐大通』の生い立ちについては、2012年5月にサッカーライター宇都宮徹さんが紹介して下さった記事がありまして（お読みになりたい方は“宇都宮徹さん”2漫遊記FC岐阜”で検索してください。今でも読めました）重複してしまいますので、その時の取材で話したんですが記事にならなかった（笑）部分などを思い出話的に少し。なお、本来記念すべき通算100号（2012/9/23（日）湘南戦号）の時には（ちゃんと数えてなかったの）後から「あれっ、100号過ぎちゃった！？」で終わりました（爆笑）。

今でもそうなんです、『岐大通』の基本コンセプトは“スタジアムに早く来てくれた人に「何か得した」と思って貰えること”です。来場者全員に配るには予算もマンパワーも不足していますので、だいたい10%前後の皆さんにお配りしています（そうそう、一般入場者の皆さんでも、先行入場の皆さんにお配りしている時間に受け取ることは可能です）。だから、喜んで受け取ってくれる方、「ありがとう」と言ってくさる方がいると、それだけで次号制作へのやる気が出ます。できれば、積極的に投稿もしていただくと（編集長は嬉しい悲鳴を上げますが）大変助かるのですが…（苦笑）。

あとは、編集体制&印刷体制が上手くかみ合っている（？）のも続いている原因でしょうか。例えば、GWの過密日程でも“朝型”の編集長が火曜の早朝に編集し、昼間に校正班（そう、実は校正班も数名いるのです。彼らにも感謝！）がチェックし、深夜に“夜型”の僕が最終稿を印刷&紙折りして、水曜ナイターに間に合わせる…なんて行程は日常茶飯事です（苦笑）。

また、皆さんもご承知のとおり『岐大通』は全く利益を出していない（笑）のですが、大赤字という訳でもありません。1年間の用紙代&印刷費用を等分に負担して下さる「独自スポンサー（現在は4つ。今日も載っています）」のサポートを（たしか2008年から）いただいていますので、（人件費を無視すれば）費用面では苦しんでいません。なお、スポンサーは現在も募集中です（笑）。

それに、長らくご愛読いただいた皆さんはご存知のとおり、紙面も少しずつ変えています。“プレビュー”を載せるようにした（これ結構大変なんです…）のは2012年からですし、今年も「直近の対決と結果」「ここ3試合の結果」が載るようになりました（これは铸造さんの担当です）。これからも（可能な範囲で）変えていければと思っていますので、そういうご意見ご要望もお聞かせくだされば甚だ幸いです。『岐大通』編集部最大の問題は「人手が足りない（特に配布班）」ことですので、「協力しても良いよ！」という方は是非お知らせくださいませ（切実）。

正直、「あと何号まで続ける」とか「あと何号で辞める」とかは考えずに続けてきたことが、150号まで続いてきたことかなと思います。それと喜んで受け取ってくださる皆さんがいるから、ここまで続けられました。本当にありがとうございます（大事なことなので2回言いました）。

さて、通算200号は…2017年の夏頃かな？それと、吉田铸造編集長は、『岐大通』の全てを1人で編集してますから「通算150号」で間違いはないんですが、僕自身は数回印刷していない号があるので、まだ「通算150号」じゃないんです（笑）。まずはそこを目指して頑張ります！

（“ささたく”こと佐々木拓）